



今月の援農状況

Let's Activate Area AGRI

- 厳しい寒さが続く中 大勢の皆さまに「有償援農ボランティア活動」に参加していただきました。
 - ・畑の残菜片づけ ハウス内片づけ 竹林整備
 - ・種まき キャベツ / レタスの定植 イチゴ手入れ トマト苗の結束
 - ・ほうれん草等の収穫 / 出荷作業
- 2月の援農時間：810h 対象農家：7軒 参加者：30人

第2回理事会でのテーマから

3月16日 台町市民センター にておこなわれました

(1) 副理事長と会計の選出

副理事長 小牧義隆氏 会計 菅家加代子氏

(2) 役員会メンバーの担当役割 (敬称略)

理事長 中村 総務担当 菅家、小牧、佐久間、飛田、水野

援農担当 石倉、永澤、中西 地産地消担当 井上

市民農園担当 長井 監事 川村、若林

(3) 新入会員への体験 技術習得のため無償援農を半日×2回体験いただきます。

(4) その他 年間計画の内 長野県の棚田見学は市内高月地区に変更します。



援農体験記 美味しい野菜 緑町 川島弘己

入会問合せでの会話「・・・ところで、明日の午前中は空いています?」「えっ?はい・・・」 私の援農活動は、ここから始まりました。

翌日伺った農家での初仕事は、出荷野菜の準備でした。慣れない手つきで仕事をしながら、作業場裏の畑から表の直売棚に並べるだけでも結構な手間がかかっていることを改めて知りました。その後、畑での収穫やハウス栽培の準備、草取りなど、いろいろと教わりながら何日かお世話になりました。回を重ねるごとに、“結構な手間”ではなく“大変な手間”に加え“大きな愛情”がかけられ、それが美味しい野菜になっていることが分かってきました。これからもますます美味しい野菜になるように、多くのことを学びながら援農活動を続けたいと思っています。どうぞよろしくをお願いします。

ちょっと耳にした情報・アドバイス

(1) じやかいもの植付け

彼岸前後が種の植え付けの適期とか。市内のあちこちで その作業がみうけられます。「新芽への遅霜が心配」—「大丈夫 再度 発芽してくれます」とも。

(2) とうもろこしの種まき

種まき後 85 日前後が収穫期という品種が多い中 「学校給食への納品に間に合わせるには 逆算し 3月上旬の播種となる。保温対策が必要になる」(農家)

(3) 小比企町の農家直営型市民農園

八王子市では ひよどり地区に 市が開設した市民農園が集中していますが 農家開設型の農園も目立つようになってきました。小比企地区にも 新設が2件 計3箇所。

富所農園 便り

農園窓口 酒井 敏夫



食用桑畑からの
早春 富所農園風景

今月は平日晴れて週末崩れで共同作業(草取り)出来ず仕舞い。2・3日の暖かさで玉葱・長ネギはグリーンと伸びる。ジャガイモ植えはあらかた終える。地主さんの配慮で大雨対策の土嚢積みへりにトタン板囲いが来月から始まる。2月に借り手に撤退者1区画出たがすぐ埋まったので良かった。農園に入れば先着人に自然に出る挨拶、出るときも居る人に声かけて帰る空気が定着してうれしい。来月には生活者ネットのグループが見学に来るとか。大歓迎です。

「おらが世やそこの草も餅になる」(一茶)

★事務局からのお知らせ 人材—農家需要 と市民意欲のマッチング

(1) 天気による連絡は密に

援農当日、天気の微妙な場合は念には念を入れて「作業依頼票」に記載されている方法で決行/中止の連絡を 朝7時前に行ってください。『農の最前線』にお出かけ下さい。

(2) 『お父さんお帰りなさいパーティ』に参加

3/25 労政会館で 開催され すずしろ22から理事3名が参加。定年を迎えた方々を対象に回のPRをしました。問い合わせが多数あり手ごたえを感じています。

(3) たけのご掘りの 予定

例年どおり 寺田町の常盤さん宅の竹林で開催します。4/28(土) 5/3(木) 5/6(日) それぞれ 9時半より。参加費は100円/人。掘ったたけのこは買取り。詳細事務局まで。

(4) 「援農のしおり」

八代宏正さんが作って下さいました。新しく入られた方にお渡しします。ご希望の方は 事務局まで連絡下さい。